

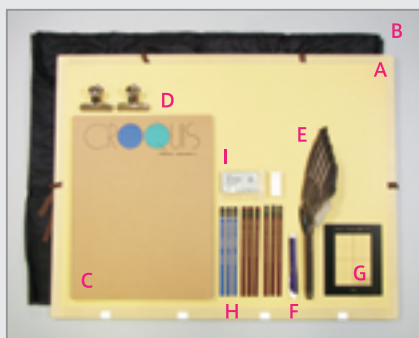
道具解説

実技試験で大事なことの一つは、自分の道具を使いこなすことです。作品や道具をきちんと管理する事も大切な制作態度です。自分の使い勝手を工夫して、オリジナルの小道具を取り入れる受験生もいます。課題に応じて制作効果を十分にさせる受験用の道具は、合否にかかわるといっても過言ではありません。

● 鉛筆描写／鉛筆デッサン

芸大受験の中で、もっともポピュラーな実技試験の「鉛筆描写／鉛筆デッサン」に使う道具です。鉛筆は種類と濃淡があるので、6H～6Bまで持っておくと便利です。紙を痛めない練りゴム、画用紙を止めるためのクリップが必要です。

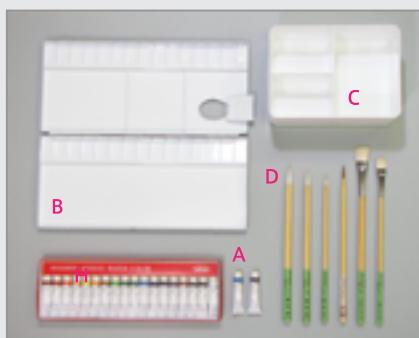
- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| A. カルトン 全判ダブル | G. デッサンスケール
(Bサイズ) |
| B. カルトンバック 全判用 | H. 鉛筆 (6H～6B) |
| C. クロッキーブック | I. 練り消しゴム
・ カッターナイフ
(鉛筆削り用) |
| D. 目玉クリップ | |
| E. 羽根ぼうき | |
| F. ペン型消しゴム | |



● 着彩描写／着色写生

透明水彩絵具を使います。彩色筆、面相筆などが必要です。絵具や筆は用途別にいろいろな種類があります。よい道具を大切に長く使うことをお勧めします。

- | | |
|----------------|----------------------------|
| A. 透明水彩絵具 | ※以下描写に同じ |
| B. 水彩パレット アルミ製 | ・ 羽根ぼうき |
| C. 筆洗 | ・ 目玉クリップ |
| D. 筆 (面相筆、彩色筆) | ・ カルトン 全判ダブル
・ クロッキーブック |



● 色彩表現／色彩構成／イメージ表現

ポスターカラーやアクリルガッシュなどの不透明水彩絵具を使います。平筆、丸筆などが必要です。着彩描写とは別の筆、別のパレットを使用します。

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| A. アクリルガッシュ | G. 筆 (平筆、丸筆) |
| B. 色鉛筆 油性 | |
| C. デザインパレット
(P,P樹脂製) | ※以下描写に同じ |
| D. 絵具皿 | ・ 目玉クリップ |
| E. 筆洗 | ・ カルトン 全判ダブル
・ クロッキーブック |



● 立体表現／立体構成

受験大学によって道具が様々に異なります。カッターナイフ、接着剤、定規が基本的な道具となります。粘土や針金、竹ひごなどを加工することが求められます。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| A. カッターナイフ | G. 粘土ヘラ
(パレットナイフ) |
| B. 方眼直定規 50cm
(メタルエッジ) | H. ラジオペンチ |
| C. 三角定規 30cm | ・ ボンド (速乾) |
| D. コンパス | ※以下描写に同じ |
| E. はさみ | ・ カルトン 全判ダブル
・ クロッキーブック |
| F. 粘土ヘラ
(ステンレス製 5本) | |

